

○野菜の価格低迷が続いている。県も一体となって地域を盛り上げる方法を教えてほしい。

「知事」若し生産者を応援していきたいので、今後、町と一緒に考えていきたい。

○平成34年に開催される全国和牛共進会で連覇を目指すための支援をお願いしたい。

「知事」前回の全国和牛共進会で本県が優勝し、現在は本県産を日本一の和牛としてPRできている。これからも日本一の和牛産地として売り込むため、さらに、次回の開催地は鹿児島県なので、負けるわけにはいかない。鹿児島県の畜産の将来が掛かっている。

本県産牛肉を東京の高級ステーキ店で使ってもらったり、香港やアメリカ、オーストラリア

県では、「鹿児島県農林水産物輸出促進ビジョン」を策定した。これからのアイデアを出して、生産者のかたを応援したい。

○バレイショに付加価値を付けて売りたいと思い、バレイショの焼酎を作った。自分もこの商品で県を盛り上げたい。

「知事」ありがとうございます。一緒に鹿児島を盛り上げましょう。



↑自作の焼酎を三反園知事に紹介する参加者

観光

○観光客から「長島に行きたい」と思われるような景観づくりに取り組みたいので、協力をお願いしたい。

「知事」町も一体となって、長島がもっと元気な町になるよう応援する。

○フラワーロードの作業員として、働いている。3月から花フェスタが始まり、長島町が花で

などへの輸出を拡大したりして、ブランド力を高めているところである。

県では、特に畜産は力を入れている分野なので、これからの一生懸命取り組み。



↑参加者からの要望に回答する三反園知事



↑ユーモアを交えた回答もあった会の様子

町開発総合センターで開催された「知事と語ろう車座対話」には、町民24人が参加しました。各公民館長や農・水産業関係者、福祉関係者など幅広い職種で構成された参加者が三反園知事を中心に向かい合う車座で着席し、町の課題や従事している仕事で改善してほしい問題などを話しました。参加者一人ひとりの意見を三反園知事は熱心に聴き、今後の県政の展望なども含め回答しました。

会議で上がった主な内容は次のとおりです。

## 「知事と語ろう車座対話」

3月17日、三反園訓鹿児島県知事が来町しました。「知事と語ろう車座対話」、「町長、議員との意見交換会」の2部構成で実施された会議には、川添町長、町議会議員をはじめ、さまざまな職種の町民が参加し、三反園知事へ問題解決へ向けた要望やアイデアを求め、活発な意見交換が行われました。

### 人口減少対策

○集落で少子高齢化・人口減少が著しい。方策はあるか。

「知事」人口減少は、県全体の課題。人口減少に歯止めをかけるためには、町を出て行った人が戻って来なくなる町づくりが必要。そのためには、町が元気でないといけないと考えている。

昨年、「中山間地域等集落活性化推進本部会議」を立ち上げ、住民の暮らしを支え合う仕組みの実現を目指している。

町づくりには、住民を説得できるリーダーが不可欠で、今はリーダーの育成に取り組んでいる。

### 獅子島振興

○甕島架橋の次は獅子島架橋と住民は強く願っている。

「知事」獅子島架橋の必要性については、認識している。

今は、獅子島の生活基盤の整備に力を入れていると考えている。具体的には、林道や漁港、農産物の運搬施設などの整備で

対応させていただく。

○獅子島にUターンで帰ってくる人が住む住居がない。

「知事」県では、空き家対策として、空き家改築の補助を平成31年度で予算化している。活用していただきたい。

若い人が帰ってきて、住めるような町づくりを推進する。

○獅子島に来た観光客から「トイレが少ない」と指摘を受けた。「知事」観光地のトイレ整備は県全体で推進している。詳細など詰めて、問い合わせいただきたい。

### 一次産業

○農産物、水産物に付加価値を付けて販売したい。

「知事」一次産業は鹿児島県の基幹産業でこれからどんどん成長させていかないとけない。

日本の人口は減少していくが、世界の人口は増え続けている。海外市場へ販路開拓していくことが鹿児島県の一次産業を持



「車座対話」の終了後、三反園知事と記念撮影